

《新企画：顧問税理士のコラム その2》 2016 年（丙申）の動向 ～概要編～

菊川税務会計事務所
全部協顧問税理士 菊川 慶規

新しい企画として、旧プライムニュース 2 月号から顧問税理士のコラムを設けています。2 月号の「算命学とビジネス～概論～」に続き、陰陽五行論で今年のビジネスを取り巻き環境について論じて頂きます。全 6 回のシリーズとなります。



菊川顧問税理士

陰陽五行論に基づいて、2016 年の動向を見てみましょう。

陰陽五行論では 40 年周期で時代が流れます。今年は陰の時代から陽の時代の移行期（10 年間）の最後の 1 年に当たります。来年（丁酉）からいよいよ陽の時代（2017 年～2027 年）に入ります。陽の時代は東洋哲理が回る時代で、西洋よりも東洋が中心で回る時代になります。アジアの時代の到来です。この時期には、学問で言えば東洋的なものを学んだり、ビジネスで言えば東洋式のビジネスを展開するとよいでしょう。例えば、趣味は手間のかかるものが良いとされます。盆栽や茶道（これらにも陰陽五行の思想が入っています）などよいでしょう、ビジネスでは日本式のおもてなしを中心としたサービスなどになるでしょうか。この時代は、社員（人材）を大切にせる企業が業績を伸ばすでしょう。陽の時代の 10 年間は福利厚生を手厚くして人材を育てる企業が活躍する時代になります。

2016 年は、時代の移行期にあるので、世の中の価値観が大きく変わる時期にもなります。ともすると自信を失い不安になる場合もあるでしょう。その時に大切なのは、自分の弱い心に打ち勝つ事です。そして自分の欲望に振り回されず動揺しないで凜としていると人生の活路が開いていくものです。

2016 年のポイントは心のよりどころしっかりと持ち、ブレずに生きることです。2007 年から 2017 年までは、陰の時代から陽の時代に移る移行期の最後の 1 年になります。2017 年（丁酉）から本格的な陽の時代が始まります。

2016 年の日本の運気は、昨年引き続き一段と上昇する気運です。過去 20 年間の中で最も勢い良く運気が立ち上がります。従って、この善き流れに乗り遅れないように何事においても前向きに対処していくことです。

丙申の干支の『干』にあたる『丙』は、火性の陽に該当します。また方角は南方に位置し、季節は夏を意味します。陰陽五行論では丙を太陽に例えています。つまり太陽とは自然界の火を意味します。この太陽を意味する火性は、すべてにおいて公平であり、明るく暖かいものがあります。また何かを育てる、未来を開くなどの意味があります。そしてその太陽の力を得て『物事がぴんと張る』という意味もあります。この太陽には草花などを成長させる大切な役割がありますが、このことが経済の成長が高まる可能性を暗示しています。また、年の干支では陽の干支の年が海外の問題、陰の干支の年が国内の問題が政局を動かすようになります。2015 年乙未の年は陰の年となるので、国内において大きな変動を受けました。実際、夏には安保法制の法案可決を巡って日本国内で大きな政

治的な変動がありました。また野党では同じ党内で対立が表面化し、党の分裂も起こりました。2016年の丙申年は陽の年となるので、海外において様々な大きな事件や変化が出てくるでしょう。この通り、今年1月の台湾の政局では与党が破れ野党が政局を握る事になりました。

一方、十二支は申です。申は西方、陽の金性の意味があります。金性はチャレンジ、変化を意味し、申は『物事を申す』に通じて『天からの稲妻』という意味があり、天からのメッセージが下る年だとも云われます。また申という字は『伸びる、伸ばす』という意味があります。これを踏まえた上で、十干の丙と十二支の申を統合して捉えた2016年、丙申年の相対的な運気は、日本の国力が政治的にも経済的にもピンと伸びる、すなわち『一段と発展する』ようになります。そして背筋を伸ばし、姿勢を正しくしている人、またはそういうトップが率いる組織には、天から多大な恩恵を受けることができます。日本の国旗は日の丸。すなわち丙そのものです。従ってこの年は日本らしさ、それも日本の良さを世界に発揮できる年になります。『和』を意識して物事を展開していくと良いでしょう。2016年はリオでオリンピックが行われますが、日本はメダルとかなり獲る可能性があります。また金性の申の意味する世界は戦いの世界です。大きな戦争は起こりませんが、中東など暑い地域での小規模な戦いは避けられそうにありません。

つづく